

教科名	工業	科目名	企業実習（学校設定科目）	
科目の目標	産業社会における実際の実習をとおして、その企業における基礎的な技術・技能を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。			
履修学年	第3学年	学科・コース	工業科（選択科目）	
単位数	2	授業形態	個別学習及び一斉授業	
教科書	なし	副教材等	企業実習ノート	
<b>1 学習の目標</b>				
将来のものづくり技術者を目指す生徒が、実際の企業での実習により、本校での学習を定着させるとともに、職業観・勤労観をさらに高め、実際的な技術・技能を習得することを目標とします。				
<b>2 学習内容と進め方</b>				
<p>本科目は、「旭工版デュアルシステム」として、1か月間、企業での実習を行うものです。この科目を選択した生徒は、特別の時間割を設定します。このため実習期間中は、「課題研究」（2単位）と「企業実習」（2単位）を連続して履修します。</p> <p>学習内容については、企業実習前に個別にキャリアカウンセリングを進める中で、個別の目標を定め、具体的に設定していきます。</p>				
<b>3 学習の留意点</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターンシップとは違い、業務内容が具体的・実践的になりますので、自らのキャリアアップを目指す強い信念をもって、学習に望むこと。</li> <li>2 働くことは、自らの健康管理にも気を配らなければなりません。指定された期間を勤め上げるよう、基本的な生活習慣を確立させ、安全に留意して実習してください。</li> <li>3 企業実習は、皆さんだけでなく、地域の人材育成に協力していただける企業の方、皆さんを支える家族など多くの人々の協力で行う授業です。一部に負担が集中する場合等は、企業実習を中断させる場合があります。</li> </ol>				
<b>4 評価の方法</b>				
毎日の実習の様子を巡回し、観察した資料を基本とし、実施後の企業アンケートの結果、企業でのOJT担当者の意見、皆さんが毎日記入する企業実習ノートの内容、自己評価等を次項に示す観点にしたがって総合的に評価します。				
<b>5 授業計画</b>				
月	単 元	学 習 内 容	評 価 の 観 点	考 査 等
4	1 自己理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の適性理解</li> <li>○旭工版デュアルシステムによる学習方法</li> </ul>	<p>【関】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職業や産業はどのように分類されているか、将来の自分がどのような職業に就きたいか等に関心をもち、意欲的に学習に取り組むことができる。</li> <li>○ 企業の役割とは何か、企業はどのようなしくみで組織されているか、管理組織と業務、企業組織の原理、管理サイクルの内容に関心をもって学習に取り組むことができる。</li> <li>○ 経済的で役に立ち、顧客が満足して購入できる品質をもつ製品の開発・設計・生産・サービス等に興味を持つことができる。</li> </ul>	<p>考査は実施しません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>この単元を 自己評価してみよう</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">A B C</p> </div>

5	2 企業調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○上川地域産業の構造</li> <li>○実習企業調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生産性向上は、作業者の安全を確保した上に成立するものであることを認識し、産業活動に起因する災害や職業疾病、安全衛生管理の目的・内容に関心をもって取組むことができる。</li> <li>○ 環境管理の役割や企業と地域社会の環境問題などの取組みの概要について関心をもって取組むことができる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう <b>A B C</b></div>
	3 働くことの意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶことと働くこと の関係</li> <li>○礼節やマナー</li> </ul>	<p><b>【思】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職業の3要素について、経済性・社会性・個人性の3つの側面から考察できる。</li> <li>○ 第一、第二及び第三次産業の構成比率の変遷から産業構造の変化が判断できる。</li> <li>○ 合名会社、合資会社、有限会社、株式会社、協同組合の特徴を比較し考察できる。</li> <li>○ 生産活動の5Mや管理サイクルの内容を認識できる。</li> <li>○ 生産管理の体系、生産管理のPDCAサイクルから概要を判断できる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう <b>A B C</b></div>
6	4 企業実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全</li> <li>○企業情報の取扱い</li> </ul>	<p><b>【技】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業として要求されることを理解し、報告できる。</li> <li>○ ライン組織、機能別組織、ラインスタッフ組織の特徴を理解し、報告できる。</li> </ul> <p><b>【知】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職業の3要素や雇用のミスマッチ、産業構造の変化の特徴、アウトソーシングについて理解している。</li> <li>○ 製造業の競争力の特徴や製品の品質・価格・納期の需要の3要素について理解している。</li> <li>○ 今後従業員に求められる知識・技能を理解している。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">この単元を 自己評価してみよう <b>A B C</b></div>

【関】は「関心・意欲・態度」、【思】は「思考・判断・表現」、【技】は「技能」、【知】は「知識・理解」をあらわす。